

# 日本パイプスモーカーズクラブ(1967~2012)略史

- 1 1967年4月26日 築地スエヒロに13名が集まり旗揚げ。全員が平等との考え方で着席順はくじ引き、会員番号もマッチに書いた番号のくじ引で決める(1番内藤、13番関口)
- 2 1967年11月11日 第1回総会、築地スエヒロで開催。メンバーズパイプを配布。配布は6年間続く。会員名簿登録者31名。旅行会始まる。
- 3 1968年3月 例会にてユースドパイプオークションを行なう。その後不定期に開かれていたが、1974年以降、春、夏2回のオークションがJPSC定番行事となる
- 4 1969年1月 会員増加により、例会会場を銀座のそば屋「よし田」に移す。7月、8月 スモーキングコンテストライアル実施、恒例行事化を検討
- 5 1969年11月 会報「PIPE」誌発刊、季刊、初回部数1,000部。全て広告費でまかなうやりかた。松山莊二氏の名編集によりパイプ界に存在を示した。79号まで刊行
- 6 1970年1月19日 スモーキングコンテスト正式にスタート 採点方法にF-1方式を採用。(1位9点、以下6,4,3,2,1点)。年間得点と例会出席点を加えて年間優勝を決める
- 7 1972年5月13日 創立5周年記念事業として「全日本パイプスモーキングコンテスト」を主催。競技参加60名、以後OBの内田氏(千葉)と会員の村上が連続出場している
- 8 1973年10月 サンクロードで開かれた世界選手権に日本から初めて参加。JPSCより連盟派遣選手柏原を含む5名が参加。次回の世界大会の日本開催が決まる
- 9 1974年4月 世界大会開催のため、受け皿として、日本パイプクラブ連盟(PCJ)を設立。総会にてJPSCより会長・柏木大安、事務局長・片岡厚一が選出される
- 10 1974年10月 過去2回JPSC主催で開催していた「全日本パイプスモーキング選手権大会」の開催をPCJに委譲。第3回以降の全日本大会はPCJが主催する
- 11 1976年11月 第3回世界選手権大会が帝国ホテルにて開催される。レディースチャンピオンに市川瀧。JPSCから大会役員・実行委員14名を送り、大会運営を支えた
- 12 1977年4月26日 創立10周年記念、記念事業として「パイプ大全」の発刊を企画。翌78年の総会にて会員に配布、会員用は背皮箱付特装版。通算1万部売れる
- 13 1980年5月 PCJ初代会長柏木大安が健康上の理由で辞任。後任にJPSC世話人代表の岡部一彦が第2代会長に選出される
- 14 1980年6月 JPSCブランドのパイプタバコを作る。米国ドラッカーアンドサンズ社ミクスチャー5種類。クラブ設立の目的の一つ「おいしいタバコを喫いたい」が実現
- 15 1982年4月20日 創立15周年臨時記念総会、記念パーティを築地「スエヒロ」で開く。大森一生氏に名人位を謹呈。大森賞が創設される
- 16 1987年4月20日 創立20周年記念パーティを銀座「楼蘭」にて開催。かねての発表のとおり、福引きなどで大盤振る舞い。新クラブタイを配布
- 17 1987年 スモーキングコンテストは参加者少なく、たびたび流会。年間3回しか開催できず、年間優勝制度は不成立、奨励優秀賞を上位3名に授与
- 18 1990年2月20日 スモーキングコンテストにハンディキャップ制を導入。入賞者へ金、銀、銅のメダルの授与を始める
- 19 1990年10月 第7回世界選手権大会を日本たばこ東京工場で開催。日本で2回目の世界大会の開催。実行委員会委員長として太田昌伸が大会をとりしきる
- 20 1991年8月20日 長年の例会会場であった銀座「よし田」で最後の例会開催。9月から四谷の「ルノアール」に会場を移す
- 21 1992年4月21日 銀座・金鶴会館にて創立25周年パーティ開催。会員ナンバー入りパイプと故会員花岡氏寄贈の皮ポーチを配布
- 22 1995年5月 岡部一彦がPCJ会長を辞任、JPSC世話人太田昌伸が会長代行に就任、翌1996年11月の総会にて第3代PCJ会長に正式に就任
- 23 1997年2月20日 メアシャムのパイプを会員全員に配布、年末総会にて色付けコンテストを行う
- 24 1997年11月8日 創立30周年記念パーティを日比谷「プレイヤークラブ」で開催。岡部一彦、関口一郎を特別表彰「栄誉賞」。岡部氏がこんなに続くと思わなかつたと挨拶
- 25 2000年10月1日 例会会場を東銀座の「サロン・ド・テ・ジュリエ」に移す。現名称「カフェジュリエ」。その後、現在まで例会会場として使用
- 26 2001年2月20日 スモーキングコンテストのハンディキャップ制を廃止。以降リアルタイムで競うことになる
- 27 2001年5月26日 創立会員関口一郎の米寿を祝う会を「サロン・ド・テ・ジュリエ」にて開催。他クラブメンバー、会員OBなど多数のゲストも出席され盛大に開催した
- 28 2001年11月17日 OBを多数招待し、赤坂「もりのいえ」にて総会を開催。柏木大安を特別表彰、長年のJPSC、PCJの活躍に対し「功労賞」を贈呈する
- 29 2002年6月16日 第11回関東大会を、浦和ハンドメイドパイプクラブと、浦和ロイヤルパインズホテルにて共催。会員自身が計時審判員をつとめる
- 30 2002年12月8日 創立35周年記念パーティを神楽坂「もりのいえ」にて開催。JPSC35年小史「日本パイプスモーカーズクラブ35年の歩み」を配布
- 31 2003年9月13日 PCJ創立30周年記念パーティ。JPSCはチャータークラブとして表彰される。翌日開催の全日本選手権大会でJPSCが団体優勝、古豪復活と言われる

- 32 2003年11月10日 年末総会において太田昌伸を特別表彰。永年のJPSC・PCJでの活躍に対し「栄誉賞」を贈呈
- 33 2004年5月30日 太田昌伸PCJ会長を辞任、理事長鈴木達也が第4代会長に就任。理事長斎藤義嗣、常任理事会議長梶浦恭生が選出され、PCJは責任分担で運営
- 34 2006年3月15日 懇話会・旅行会の二つのJPSC定番行事を復活。懇話会「二つのパイプクラブ誕生秘話」内藤幸太郎氏が話し手。6月3,4日 旅行会・青梅岩倉温泉
- 33 2007年2月13日 コンテストの使用タバコは色々なカテゴリーから選んでいたが、年間テーマを決めて選ぶこととなる。第1回は「パイプメーカーの販売するタバコ」
- 34 2007年10月16日 平成19年次最後の例会にて6名の新入会員を承認(その後2名追加)により、JPSC会員は45名となり盛会、次の10年の足固めができた
- 35 2007年11月10日 銀座「スエヒロ」にて創立40周年記念パーティを開催。ゲスト25名、会員40名が出席し盛大に開催。40周年記念パイプ(朱漆ぬり)を配布
- 36 2008年7月22日 夏のオークションにゲスト、会員計39名と多数の参加者があり、大いに盛り上がる。会員は最初の名簿記載者31名のほぼ倍増
- 37 2008年10月12日 浅草ビューホテルにて第35回記念全日本選手権大会が開催され、JPSCから選手・役員など38名の多数のメンバーが出席した
- 38 2009年2月20日 「国際パイプスマーキングの日」の会合を昔の例会会場・銀座のそば屋「よし田」で開催、会員、ゲスト多数参加。パイプ仲間の絆を確かめた
- 39 2009年5月21日 PCJ総会にて鈴木会長、斎藤理事長、梶浦常任理事会議長が退任、後任に六本木RPCの田中、千田、高橋の各氏が就任。梶浦は事務局長に専任
- 40 2009年6月10日 「パイプ大全・第3版」が出版される。原稿執筆・編集・写真撮影などにJPSC会員が多数関わる。パイプ大全の版権はJPSCよりPCJに譲渡した
- 41 2008年8月19日 スモーキングコンテストにレディース戦を導入、女性会員が増えたことに対応。年間優勝回数で優勝者を決め「表彰・盾」を贈呈する
- 41 2009年9月15日 1名の新入会があり、会員総数は大台を越え、61名となる。クラブの活動はますます盛んになる
- 42 2009年10月12日 ハンガリーのデブレツェンで開催されたWorld CupにJPSCから初めて単独のクラブチームとして参加した。(山崎、田渕、鈴木夫人代理参加)
- 43 2009年11月21日 年末総会において白木朝康を特別表彰。永年に亘るJPSC、PCJでの活躍に対して「功労賞」を贈呈
- 44 2010年5月22日 第14回関東大会を主催、JT渋谷ビル地下食堂に、110名の参加者があり盛会。JPSCから31名が出席
- 45 2010年9月21日 第9回スモーキングコンテストにて2グラムで99分5秒の好記録をマーク。JPSCのグラムあたりタイムを大幅に塗り替えた
- 46 2010年12月4日 年末総会において市川潔を特別表彰。レディースパイプスマーカーの草分けとして永年の活動・尽力に対し「栄誉賞」を贈呈
- 47 2011年3月12日 前日の東日本大震災のため例会を休止とした。天災による休会は1998年10月の台風による休会以来2回目
- 48 2011年11月26日 年末総会において内藤幸太郎を特別表彰。JPSC創立会員、永年のJPSCの活動・パイプの世界の活動・支援に対し「栄誉賞」を贈呈
- 49 2012年5月27日 PCJ総会において梶浦恭生が第6代会長に就任。11月1日より森谷周行が理事長、事務局長に平野憲一郎が就任
- 50 2012年11月10日 創立会員関口一郎の白寿、JPSC創立45周年を祝う会を「エスカイイヤクラブ日比谷店」でゲスト33人、会員37人が出席し盛大に開催  
会員総数62名。1967年創立当初の登録31名の倍増となる。この間、会員の出入りは多数あるが、会員の熱意でJPSCは活動を続けている

以 上